

「新潟県中越沖地震と柏崎刈羽原子力発電所への影響」

JNES 水町 渉 氏、小林 正英 氏

7月16日に発生した M6.8 の新潟県中越沖地震により被災した柏崎刈羽原子力発電所の概要報告。

被災後の建屋 / 設備の状況を動画及び写真を用いて報告。現時点では、以下の事項が明らかとなっている。

- ・ 地震発生と同時に緊急スクラムにより運転中の原子炉が全て自動停止。
- ・ 全てのプラントで直ちに熱除去がなされた。
- ・ 原子炉内の物資は全てのプラントで閉じ込めを確認。
- ・ 全てのプラントで安全に関わる重要な設備の損傷は確認されず
- ・ 使用済燃料プールの水が海に漏洩したものの、自治体が設置する放射線モニターでの放射能検出は確認されておらず、懸念すべき放射能の放出はない。

今後の課題として、消防設備の改善、情報伝達方法の改善等が挙げられる。又、設備保全だけでなく、事故対応のためには事務棟の保全も重要であろう。再稼動にはより詳細な検査を要し、継続して調査を行っている。

